

『じゃ、パンダ。』

号外 防水・耐UV加工ステッカー

2026年(令和8年)
1月25日(日)



突如として店内に現れた白黒のお客様に、居合わせたパーティーも一時騒然となりました。しかし、当の本人は至って冷静。真剣な眼差しでアートを選定し、慣れた手つきでカゴに入れていく様子は、まさにステッカー愛好家そのもの。その堂々たる買い物姿は、白黒はっきりとした迷いのない決断力と、B-SIDE LABELへの深い愛を感じさせます。

普段は笹を食べているイメージが強いですが、アートを嗜む姿もまた一興。出発直前の過密スケジュールの中、B-SIDE LABELに遊びにきてくれたことに、関係者一同、静かなる興奮を隠せませんでした。このステッカーは、単なる記念品ではなく、パンダの愛らしさと、B-SIDE LABELならではの遊び心が見事にシンクロした、びっくりのエンターテイメントの証と言えるでしょう。笑顔で買い物を楽しむその姿は、私たちに「 shinmari 」したお別れは似合わない」と語りかけています。

買い物を終え、はち切れんばかりのリュックのファスナーをなんとか閉めるその背中には、達成感と、どこか誇らしげで晴れやかな空気が満ちていました。パンに膨らんだ荷物の重量感は、今日という一日を余すことなく満喫し、欲しいものを全て手に入れ全てを感の表れでしよう。詰め込み満足げに一つ頷くと、軽やかな足取りでゆつくりと出口へ向かいます。さあ、いよいよ出発の時。

私たちはその愛らしい背中を、最後まで見届けることにしましょう。

1972年10月、日本に初めてパンダがやつて来てから約半世紀が経ちました。もふもふの毛並み、愛らしい夕雷目模様、マイペースに寝転ぶ姿。いつの時代も、パンダは多くの人々の心を癒してくださいました。日本中にブームを巻き起こし、今でも根強い人気を誇りますが、本日で最終観覧日を迎えた。その姿を見る事ができる機会は、残りわずかとなりました。

B-SIDE LABELを満喫

B-SIDE
L.A.B.E.Lを満喫するパンダ

B-SIDE LABELでは、この決定的瞬間を「号外ステッカー」として緊急リリースいたします。ニュースが鮮度を命とするように、B-SIDE LABEL直営店でも極めて短い期間のみ登場するデザイントンです。奇跡的かつユーモラスな一コマを、ぜひその目でお確かめください。

今回のスクープ写真（ステッカー）には、そんなパンダのこだわりが凝縮されています。特に注目すべきは、リュックからはみ出すほど買い込んだお土産の数々。定番のお土産もしつかり押さえつつ、当店のオリジナルキャラクターもしつかり確保している点に、高い審美眼とユーモアのセンスが伺えます。

そして、いよいよお別れの時

B-SIDE LABEL を満喫した

パンダが発した一言とは・・・



パンパンのリュックを背負い、ついにその時がやってきました。「いつも癒しをありがとう！」「元気でね～！」見送るみんなの呼びかけに、こちらを振り返ったパンダが一言。

「うちを振り返る
じや、パンダ」

じゃ、パンダ？ん・・・？じゃ、ぱんだ・・・あれ・・・じゃ、ぱんだ、じゃぱんだ。ジャパンダ・・・ジャパンだ～！！
ジャパンとパンダをかけた、茶目つ気たつぶりなご挨拶。最後までみくにに笑顔と癒しを届けてくれるパンダなので！